

輸血速度の標準化についての後方視的研究

1. 研究の対象

2017年1月～2017年11月に当院で輸血を受けられた方

2. 研究目的・方法

日本赤十字社の血液製剤取り扱いマニュアルでは、成人に対する輸血速度は通常投与開始10～15分間は1分間に1ml程度で行い、その後は1分間に5ml程度で行うこととされています。また輸血により体の血液量が増えたことで発生する関連循環過負荷の予防のためには、患者の体重・基礎疾患、水分出納バランスに注意して輸血速度の調整を行うことが重要であるとも記載されています。

しかしながら輸血を実施される患者さんの状態は様々であり、症状別の輸血速度についての報告は少なくその実態は明らかとはなっていません。

本研究は当院における輸血速度の現状を後方視的に解析し、輸血副作用防止の観点から患者の状態に応じて適切な輸血速度が決定される仕組みを構築することを目的としております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病名、性別、輸血歴、体重、体温、血圧、輸血製剤種類および輸血量、輸血副作用発生状況 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので、ご連絡下さいますようお願い致します。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までご連絡下さいますようお願い致します。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

埼玉県所沢市並木 3-2 04-2995-1511 (内 5178)

防衛医科大学病院 輸血・血液浄化療法部 研究責任者： 坂口 武司 sakagut@ndmc.ac.jp